

広報誌

# うぐいす



TAKE FREE

ご自由に  
お持ちください



## 病院理念

すべての人々に安らぎと希望を

## 基本方針

1. やさしさとぬくもりのある医療を提供します。
2. 個人の価値観に配慮し、患者中心の医療を展開します。
3. 適切なリスク管理により、安全・安心をめざしたチーム医療を提供します。
4. 地域に根ざした病院として、地域の医療・介護・保健・福祉に貢献します。
5. 医療人として常に質の向上を図り、健全で希望に満ちた病院づくりに努めます。



## 新年度を迎えて



令和6年度最初の広報となりますことから、院長としてご報告とご挨拶を申し上げます。

昨年5月に新型コロナの扱いが感染症法上5類に変わり、我々にはこの一年間で新型コロナ対応から通常の医療に戻ることが求められてきました。当院はパンデミック下に新型コロナの感染患者を積極的に受け入れてきたこともあり、コロナ対応を行いながらの運営にも大きな支障はなく、病棟も感染患者を受け入れながら以前の状況に徐々に戻ることができています。令和5年度も多くの新型コロナ感染患者を受け入れており、昨年の夏には一時的に入院の増加も見られましたが、現在はかなり少なく、新型コロナ感染拡大に大きな配慮を必要とすることもほぼ無くなったことからコロナ禍前の状況に近い診療、医療提供ができています。

当院では、新型コロナ流行前は「回復期リハビリ病棟」や「地域包括ケア病床」といった亜急性期の病床を設けて、主に高齢の患者さんが自宅や地域に戻る事を支援する取り組みを積極的に行ってきました。コロナ禍では病床も人員もその半分以上をコロナ対応に費やしたため、それらの特別な病床は閉鎖していましたが、昨年の春から徐々にコロナ対応を縮小して従来の役割を取り戻す取り組みを進めています。昨年の6月には「地域包括ケア病床」を再開して、退院まで日数を要する高齢患者さんに使用して頂いております。常に二十人程の患者さんが「地域包括ケア病床」を利用しており、最大2ヶ月の比較的長い期間を有効に使って、リハビリテーションに取り組んで頂いたり、施設や自宅へ戻る準備をするなど、退院へ向けての取り組みを行っています。病棟の看護師や理学療法士だけでなく、専従の看護師、ソーシャルワーカーなどの地域連携室のスタッフも充実させて、患者さんやご家族のサポートをさせていただいております。

東磐井地域の人口は徐々に減少していますが、それでも4万人以上の方が住んでおり、高齢者人口についてはまだ減少傾向にありません。若い方だけが徐々に減少している状況で、高齢者だけで何とか生活をしている世帯が増加し、病院へのアクセスに困っている方も多く、それが救急車の出動回数の増加、救急患者さんの増加に繋がっていると考えています。現在の当院の診療体制、医師数で全てを受け持つことは難しい程の患者数ですが、圏域の中核病院である県立磐井病院やその他の施設と役割分担を適切に行う事でこの圏域全体の医療が停滞しないよう病院運営を行っています。今後も地域での連携を密にして高齢者を中心とした地域医療を維持していきます。

今年度の当院の診療体制ですが、常勤の医師は8名で、理想的な計画通りの医師数には足りない状況が続いています。そのうち5名は経験10年以下の若い医師で、岩手医大や県の配置調整のうえで当院で勤務して頂いております。少人数ですが、若い医師が多い事もあり皆活発で献身的に診療に当たってくれており、お陰で千厩病院の診療体制を維持することができています。様々な事情により短期間で交替する医師もおりますが、看護師など他のスタッフの協力も得ながら、今後も現在の診療体制を維持できるように努力して行きたいと考えております。若い医師には入院患者さんの治療や救急診療を主に担ってもらいながら、一般の外来については各所から来て頂いている多くの応援の医師をお願いして診療体制を維持している診療科が多くなっています。専門的な外来診療については曜日が限られていて不自由を感じている患者さんもいらっしゃると思いますが、この地域で多様な医療を提供出来るよう各方面をお願いして何とか現在の診療体制を作り上げていますので、ご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

岩手県立千厩病院 院長 佐藤 一



# 医療安全管理室からのお願い

医療安全管理室は、皆さんに「安全・安心な医療の提供」を目的として、職員の安全活動を支援しています。安全な医療を行う為には、医療従事者だけではなく皆さんの協力が必要です。

地域住民の皆さんに是非、安全活動にご参加頂き安心して医療が受けられるよう一緒に取り組んでいきたいと考えています。ご理解・ご協力をお願い致します。

- 1 入院患者さんだけではなく外来通院の患者さんの転倒が増えています
  - ・履き慣れた靴を履きましょう
  - ・体調に応じて歩行器や車椅子をご利用ください
  - ・診察台への移乗など介助が必要な場合は、遠慮なく職員へ声をかけてください
- 2 患者さんにお名前、生年月日をお答え頂いています
  - ・医療安全の基本は患者間違いがないことです
  - ・検査、処置、診察時などいろんな場面でお聞きしております
- 3 院内での録画・録音は禁止しております
  - ・他の患者さん（個人情報）への影響を考慮しています
  - ・必要な録画や録音の場合、職員へご相談ください
- 4 貴重品や私物の紛失にご注意ください
  - ・落とし物や置き忘れに注意しましょう
  - ・入れ歯や補聴器など体に装着する物品の紛失に注意しましょう

また、医療安全管理室では患者相談窓口を開設し、医療相談に応じています。お気軽にお声かけください。

よろしくお願いします！

## 新任医師の紹介



総合診療外科医長  
総合診療外科  
つしま まお  
對馬 真緒



医師  
総合診療内科  
かめい まさき  
亀井 正紀  
(5月のみ)



医師  
総合診療内科  
あらさわ かずや  
荒沢 和也  
(5月～7月)



医師  
総合診療内科  
よしだ そう  
吉田 創  
(6月～7月)

# 外来受診時のおねがい



外来受付時間は診療科によって異なります。

ホームページをご覧ください。電話でご確認ください。

\*当院は応援医師による診療科が多いため、急な休診や診療開始時間が遅れることがあります。

また、救急患者さんの診療や入院患者さんの急変等により、外来診療が中断したり、待ち時間が長くなる場合もありますので、予めご了承ください。

\*急な症状等により診療時間外に診察を希望される方は、来院前に電話で連絡くださいますようお願いいたします。

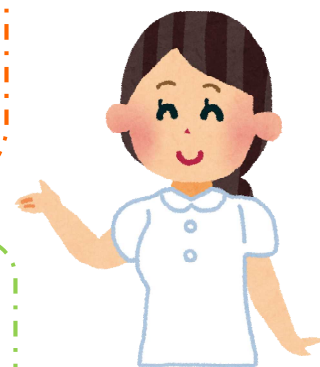
発熱がある患者さんは、受診方法が異なります。

発熱外来は来院前に電話連絡をお願いします。

看護師が症状をお聞きし、受診方法について説明します。

来院しましたら、車からは降りずに再度病院に連絡くださいますようお願いいたします。

通常受診の流れとは異なりますので、ご注意ください。



病院内ではマスクの着用をお願いいたします。

高齢の患者さんは感染症に対する抵抗力が弱くなっています。

ご自身や患者さんへの感染予防のために、病院内ではマスクの着用をお願いします。

病院内での撮影は原則禁止しております。

皆さまの個人情報保護のため、院内でのカメラ・ビデオカメラ及び携帯電話による写真(動画)

撮影はご遠慮ください。なお、必要により撮影を希望される方は、最寄りの職員にお声掛けください。